



このまち、このひと



藤田 聡さん(73) 高郷区

長野県で開催された「第79回八方尾根リーゼンスラローム大会」70代の部で、全国各地から選手が出場する中、72人中11位という好成績を収めた藤田さんにインタビューを行いました。

競技を始めたきっかけ

20代から趣味でスキーをしていました。スキー場で大会を見て楽しそうだったので、40代の時に競技を始めました。シーズンの11月から4月までは毎週長野県まで通い、練習をしています。

競技の魅力

時速70キロから100キロのスピードで滑り降りながら、1/100秒を縮めるために自分が思



い描いたコース取りができたときには、格別な達成感を感じます。

大会の結果を受けて

この大会に向けて一年間練習してきたので、シード権を獲得できる15位以内に入ることができてホッとしました。

今後の展望

大会に出られる限り、1/100秒を縮めることを追い求めたいです。

リーゼンスラローム：

標高差のあるコースに、ある程度の幅を持った旗門きもんを設置し、その旗門きもんを交互に通過しながら滑走してタイムを競う

エコティ日記



(一社)エコティかわね
川根本町桑野山424-6
☎ : 0547(58)7000
FAX : 0547(58)7001
Eメール : ecotkawane@gmail.com

第2回ヤマセミ生息状況一斉調査を実施しました！

6月8日(日)、2回目となるヤマセミ生息状況一斉調査を実施しました。今回は北部エリアの11ヵ所を調査地区に設定し、町内外から92名の参加者が集まりました。昨年出会えた個体はいるのか？ ヤマセミを取り巻く環境は変わっているのか？ その結果は、、、今年も川根本町にヤマセミはいました！！生息場所は保護の観点からお伝えすることはできませんが、町の鳥ヤマセミは合併20周年を迎えた川根本町に、今も確かに生息しています。

ヤマセミを観察するときは、河原に出てもすぐに歩き出さず、まずは耳を澄ませて鳥や虫、カエルの声といった自然の音を聞きます。次に景色全体を見渡し、川に張り出した枝にとまっていないか、魚が泳いでいるか、水中の岩の裏に虫がいるかななどを観察。「ここはヤマセミが住みやすい環境かな」と周辺の自然環境を確認することも大切なポイントです。

参加者からは「ヤマセミを探す中で、町の豊かな自然を再確認することができた」「地元にもなかなか川に行く機会がないので、大井川の現状を知るいい機会になった」などの声をいただきました。

「ヤマセミを見たい！」という思いで参加したこの調査が、自然環境を守り、共生していくことを考えるきっかけになったようです。

今回の調査結果はヤマセミ会議にて報告予定です。

事務局 いねみか 稲美香